

日本原子力学会核燃料部会 平成19年度第一回運営委員会議事録

日時 : 平成19年5月14日(月)13:30~15:15

場所 : 原子力学会事務局 会議室

出席者 : (順不同 敬称略)

岩田部会長、山本副部会長、安部田委員、磯部委員、伊東委員、今村委員、来山委員、木下委員、

寺井委員、平井委員、藤田(千)委員、藤田(元)委員、三島委員、和田委員、佐藤先生(塩川委員代理)、

溝上氏(阿部委員代理)、山田氏(関西電力)

議事:

1. 前回運営委員会および総会の議事録案確認

今村委員から、資料No.1-1、1-2に基づき前回運営委員会および総会の議事録案が提示され、了承された。

2. 平成19年度運営委員について

今村委員から、資料No.2に基づき、核燃料部会運営委員名簿の紹介があり、記載項目について確認頂くこととした。確定後、各委員にメール配布することとした。

3. 平成18年度決算報告

・今村委員から、資料No.3に基づき平成19年3月実績を反映した平成18年度決算の説明があった。平成19年3月の前回運営委員会で、セミナー残金は期待できないので計上しないようコメントがあったが、既に学会全体の予算上織り込まれていたこと、平成19年度よりHP管理費を織り込むこと、が紹介された。

・資料No.3の平成19年度末繰越金額について指摘があり、確認のうえ、資料を改訂、再配布することとした。

4. 平成19年度「秋の大会」部会企画セッション企画立案状況報告

・東北大学・佐藤先生、木下委員、和田委員から、資料4-1、4-2に基づき2007年秋の大会(9/27-29)企画セッション提案書の提出について報告があった。5月2日が提出期限であり、メールで調整した結果を提出している。なお、他部会の提案書とあわせて5月23日の部会等運営委員会にて和田委員から説明し、審議頂く予定である。

・秋の大会では、90分を3件に分けて発表予定。

5. 次回部会報(No.43)の企画立案状況報告

藤田(元)委員、山田氏から、資料No.5に基づき、次期部会報の立案が紹介され、内容、執筆者等について審議した。

・国際交流ニュースとして、日韓合同夏期セミナーの速報を掲載する案も出されたが、6月のIAEAにてKnowledge Managementについて岩田部会長が講演する内容を紹介頂くこととなった。日韓合同夏期セミナーの報告については冬版に掲載することとなった。

・ページ数は昨年度32頁と同等の35頁程度になる予定である。

6. 平成19年度夏期セミナー企画立案状況報告

来山委員から資料No.6に基づき、夏期セミナーの開催要領、プログラム等の説明があり、審議した。

・5月21日頃に、部会HP、MLにより参加申込み受付開始。5月末に発刊される学会誌夏期セミナーの案内を掲載する予定である。

・6月20日を締め切りとする。講演資料の締め切りは6月29日。

・本委員会審議後に講演者への資料作成依頼、中国人講演者へのVISA申請用招聘書類送付を行う。

・講師への謝礼については3名のみ(海外からの2名及び小野氏)。

・昨年度の参加者と同程度の49名程度の会費参加者を見込んで計画している。

・一日目のブッキングセッション前のCoffee Breakからアルコールも用意することとしている。

・二日目の閉会時間は17:16の信濃大町発のJRに間に合うようにしている。

・第二回運営委員会を夏期セミナー2日目(7月20日)の昼食時に行う。

7. 三部会合同日韓夏の学校について

山本副部会長から、資料No.7に基づいて事業計画の説明があり、以下の依頼があった。

・核燃料関連で発表が決まっているのは、燃料高度化ロードマップ(NFI:村田氏予定)だけであり、他のセッションについて、木下委員、更田委員等を中心に早急にアイデアを出して頂き、決めていきたい。

・大学は、学生も多数の参加し、ポスターセッションへの発表を奨励して欲しい。

なお、東大教員は大学院入試業務により、参加できないとのことであった。

8. 関係研究専門委員会の活動状況報告

平井委員から、「先進的原子力システムにおける燃料・材料」研究専門委員会の活動状況の説明があった。これまで、10月、12月、3月の3回委員会を開催。3月には照射損傷関連5件の講演が行われた。今後も2ヶ月に1回、残り5回程度開催予定(次回は5月23日の予定)。

9. 枠組み編成委員体制について

平井委員から、資料No.9に基づき説明があった。平井委員は2006秋、2007春の2回を務め任期満了となったことから、次期委員の選任を求められている。核燃料は第IV区分に属し、順番からいって、次期は再処理あるいはバックエンドから選任していくことになる。

委員より以下のコメントが出された。

- ・核燃料部会から人を出さなくても、学会での枠取りのため、早めの要望が出せるようにするよう、ウオッチしておくこと。平井委員にはメールのccで情報が入るようにしてフォローしていく。

- ・シルカロイのテーマは「材料」に属しているが、核燃料分野に移すよう、変更すべき。山本副部長から、部会等運営委員会において、シルカロイを含め、細かい分類の見直しを促すよう提案していくこととなった。

- ・岩田部会長から、原子力分野はバラバラになりすぎているので、別の視点で再編を提案していきたいとの発言があった。

10. 運営委員会名簿のホームページ記載について

今村委員から、No.10に基づき説明があり、審議した。その結果以下のとおり対応することとなった。

- ・HPの運営委員会名簿には、運営委員会役職、名前、組織を掲載する。(ANSIは組織が入っていないようだが、所属組織は必要。)

- ・電話等連絡先の情報については、掲載しない(パスワード付リンクも張らない)。ただし、運営委員には個別に従来の詳細版を送付・配布する。

- ・学会事務局員は部会HPからは削除する。

- ・HP更新については予算面の話もあるが、部会の活性化のためには、HPを積極的に活用していくべきである、との部会長の意見が示された。一案としてブログ形態にすることも考えられる。近々に、庶務担当より部会MLを通じてHPの活用について部会員のご意見を受けることとなった。

11. その他

- ・木下委員から資料No.11-1に基づき、平成19年度の核燃料関係国内会議2件(MMSNF会議、新クロスオーバー研究成果発表会)について紹介があった。

- ・伊東委員から資料No.11-2に基づき、16thPBNCの開催予定等について紹介があった。開催は、青森において2008年10月の計画であるが、アブストラクト締め切りが2007年9月28日となっており、あまり余裕はない。発表件数は全部で260件程度になる見込み。同時期にソウルで燃料関係の学会が予定されていることもあり、PBNCはさほど学術的な内容でなくてもよい。燃料安全研究、高度化ロードマップ等を含めた内容にして、JNFLで案を作って頂き、核燃料部会として発表することで進めることとなった。次回運営委員会までに内容を検討しておく。

- ・磯部委員から、6月に新規発足する水化学部会から、秋の大会の企画セッションで水化学ロードマップを取り上げるので燃料関係者も参加し議論頂きたいことや、具体案は未だ無いが核燃料部会との合同セッション等の企画ニーズが出されていることが紹介された。

- ・寺井委員から、部会等運営委員会での国際協力のあり方が最近変わってきていることから、日韓セミナーのやり方を再考すべきとの意見が出された。

- ・岩田部会長から、他分野とマージすることも含めて、この分野が活性化するよう、できるだけ議論していきたい。役割を先取りし、フットワーク良く進めたいので次回以降適宜相談したいとの提起がなされた。

以上

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)